

# 保育・介護保険の充実を 福祉保育労が県へ要望

## 40人参加。尾村・大国県議も同席



全国福祉保育労組島根支部（津島雄介委員長）は22日、「介護保険制度の充実」「保育制度拡充」を求める要望書を県に提出し、意見交換しました。日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議が同席しました。（写真）

の充実」「保育制度拡充」を求める要望書を県に提出し、意見交換しました。日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議が同席しました。（写真）

介護職員からは「夜勤を月17回やる施設がある」「人手が足らず、他の部署に応援に入っている。慣れない作業で事故が起きないか心配」など介護現場の厳しいリアルな実態が引き上げや処遇改善を求める意見が相次ぎました。

保育士からは「1歳児の配置基準を6対1からせ

# 地域の話題 アタタタ

## 南 TPPから撤退を 伊藤議員が質問

伊藤議員―安倍政権はTPP大筋合意を国会にも報告せず、国民的な議論もないまま既成事実として押し付けようとしている。国会決議では、農産品の重要5品目は関税撤廃や削減は行わないことを求めている。大筋合意は、国会決議破りと思うが、いかがか。

## 町長―情報開示されず、すすめられたことは大変遺憾である。国会決議は守られなかった。国は、国民に及ぼす影響を丁寧に説明する責任がある。TPPは具体的な対策とセットで評価すべきと思う。（伊藤好晴）

伊藤議員―安倍政権はTPP大筋合意を国会にも報告せず、国民的な議論もないまま既成事実として押し付けようとしている。国会決議では、農産品の重要5品目は関税撤廃や削減は行わないことを求めている。大筋合意は、国会決議破りと思うが、いかがか。

## 田 期日前投票所を 県立大に設置へ

浜田市選挙管理委員会は、投票年齢が18歳に引き下げられる参議院選挙で、市内の県立大学に期日前投票所を設置することを決めました。県内の大学では初めての。担当者は「若い人の啓発と投票しやすい環境をつくりたい。若年層の投票率が低いので底上げを図りたい」と話しています。

## 田 就学援助早期支給 安達議員が質問

安達議員―就学援助の入学準備金は本来であれば入学前に支給されるべきであるが、益田市は6月に支給している。経済的負担を軽減し安心して入学準備ができるよう支給を早めるべきであるが、どうか。

## 答弁―申請業務が集中する3月・4月は学校も年度初め特有の業務が集中し、繁忙な時期である。保護者の支給を早めてほしい気持ちは理解できるが、できる限り支給時期を早められるよう努めていきたい。（ますだ民報）より）

安達議員―就学援助の入学準備金は本来であれば入学前に支給されるべきであるが、益田市は6月に支給している。経済的負担を軽減し安心して入学準備ができるよう支給を早めるべきであるが、どうか。

めて5対1にして欲しい。災害で避難する時、今のままでは不安」「人手不足は深刻。賃上げなどの労働環境の改善は急務」などの意見が出されました。

## 介護・福祉・医療など社会保障拡充を 県社会保障推進協議会も県に要望

県社会保障推進協議会（池淵栄助会長）は21日、「介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充に」ついての要望書を県に提出し意見交換。（写真）

尾村利成、大国陽介両県議、片寄直行松江市議が同席しました。

要望では、①子どもの医療費助成制度の拡充②介護保険の負担軽減と給付改善③地域医療構想の策定にあたって安易な病床削減をしないことなどを求めました。

参加者は「親にとって保育料、医療費の負担は



大きな悩み「介護報酬削減で事業所運営が困難。職員を募集しても人が集まらない」などの実情を語りました。

## 2千万署名で安倍政権を包囲しよう

### 戦争法廃止の野党共闘に熱いエール

13日、ハンセン病療養施設大島青松園（香川県高松市）にかし昭二、白川よう子両県議、田辺健一選挙区候補と伺いました。全国13園のなかで唯一離れ



比例候補  
院定  
参予  
名おあき

# 爽風

エッセイ

小島の同園、それゆえの困難さもあります。入所者の平均年齢は83歳、最高時700名の入所者はいま65名。驚いたのは内科の医師が不在になって4年もたつこと。大島・庵治便は民間委託され、働く方々の労働条件もいっそう劣悪に。隔離政策の責任はすべて国にある、それを認めて基本法もできました。入所者の命がけのたたかいが国を動かしました。最後の一人まで国が責任を持ち、将来構想もきちんと決めるべきです。

12月に訪ねた岡山県の長島愛生園には立派な党支部があり、入所者の要求実現に全力を挙げておられました。全国唯一の新婦人の班もあるそう。愛生園では人権と差別の歴史



を後世に残そうと世界遺産登録運動をすすめています。いわれなき差別と偏見で苦しめられてきた歴史を決して忘れず引き継いでいきたい。この誓いを胸に、慰霊碑に献花、合掌。

鳥取の新春のつどい（17日）には、無所属県議、元境港市議会議員、無所属鳥取市議などからメッセー。野党は戦争法廃止で選挙協力を、という熱いエールです。広島県庄原市では、いち早く戦争法廃止意見書を採択、20名中19名の超党派市議が「ストッ

プザ安保法制 庄原市民の会」に結集し、毎週統一宣伝にとりくんでいます。この地方からの世論と2000万人署名が、安倍政権を包囲し、筋の通った選挙協力を実現させる力です。（写真）

15日、三ヶ尻亮子選挙区候補、つかじさち県議と鴨部で街頭演説。デイサービスをわざわざ切り上げてきてくださった方、「おまんが久しぶりに演説するきに」と仕事の手を休めてきてくださった方、通りがかりの方からはいきなり10000円のカンパ。高知のみなさんのあつたさが心に染みしました。

16日10時間、17日9時間半―移動に要した時間です。全国比例候補ならではですが、少々疲れまです。行った先々での支持者、後援会員の笑顔に救われる毎日です。

（2016年1月24日付）

## 案内板

### 島根原発再稼働ストップ！ 活断層の新知見を読み解く

日時：2月12日（金）午後6時～

場所：松江テルサ・研修室1

講師：立石雅昭（新潟大学名誉教授）

主催：日本共産党県議団・松江市議団